

イベント開催時のチェックリスト

【第7版（令和4年9月版）】

開催概要	本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの情報をご登録ください。	
イベント名	『ものづくり企業を変革するデジタル技術展』セミナー&製品説明会 (開催案内等のURLがあれば記載) https://www.pref.osaka.lg.jp/energy/dx/dxevent_202302.html	
出演者・チーム等	別紙記載	
開催日時	令和 5年 2月 8日 16時 00分 ~ 19時 00分	
開催会場	MOBIO(ものづくりビジネスセンターおおさか) 北館3階309号室および北館2階常設展示場企画展コーナー	
会場所在地	大阪府東大阪市荒本北1-4-17	
主催者	大阪府	
主催者所在地	大阪府大阪市住之江区南港北1-14-16	
主催者連絡先	(電話番号) 06-6210-9483	(メールアドレス) sangyosozo@gbox.pref.osaka.lg.jp
	大声なしで開催	
収容率 (上限)	<input checked="" type="checkbox"/> ①収容定員あり 100%	<input type="checkbox"/> ②収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	大声ありで開催	
	<input type="checkbox"/> ③収容定員あり 50%	<input type="checkbox"/> ④収容定員なし 十分な人と人との間隔(最低1m)
	「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催	
いずれかを選択	<input type="checkbox"/> ⑤収容定員あり 大声なしのエリア：100% 大声ありのエリア：50%	<input type="checkbox"/> ⑥収容定員なし 大声なしのエリア： 人と人が触れ合わない程度の間隔 大声ありのエリア： 十分な人と人との間隔(最低1m)
収容定員(注)	20名	—
参加人数(注)	20名	
その他 特記事項	(大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。)第1部はセミナー形式でのイベント開催であり、通常観客が大声を発することはないため。また、セミナー終了後の名刺交換等観客が声を発する必要がある場合には、音量を控えるよう適宜アナウンスを実施する。	

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

(注) 収容率(上限)において、⑤を選択した場合は、「大声あり」と「大声なし」のエリアの区分ごとの収容定員・参加人数を記載すること。

(記載例)

○収容定員10,000人の会場で、「大声あり」エリアの収容定員が5,000人、「大声なし」エリアの収容定員が5,000人のイベントを開催する場合

収容定員：「大声あり」5,000人、「大声なし」5,000人

参加人数：「大声あり」2,500人、「大声なし」5,000人

感染防止策チェックリスト

【第7版（令和4年9月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

1. イベント参加者の感染対策

(1) 感染経路に応じた感染対策

① 飛沫感染対策

- ☑ 適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底
- ☑ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保

（※）※マスクの着用については、厚生労働省HP [「マスクの着用について」](#)を参照。

「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、

- 大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保
- 大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施

② エアロゾル 感染対策

- ☑ 機械換気による常時換気又は窓開け換気
- ☑ 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】
- ☑ イベント会場(客席、入退場口やトイレ等の共用部)におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

③ 接触感染対策

- ☑ イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施
- ☑ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

感染防止策チェックリスト

【第7版（令和4年9月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

1. イベント参加者の感染対策 (2) その他の感染対策

④ 飲食時の 感染対策

- ☑ 前項（1）感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等）の徹底の周知

⑤ イベント前の 感染対策

- ☑ 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ

⑥ 感染拡大対策

- ☑ イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起

2. 出演者やスタッフの感染対策

⑦ 出演者や スタッフの 感染対策

- ☑ 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における前項（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施
- ☑ 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施

出演者・チーム等

- 大阪府
- 大阪産業局
- シー・システム株式会社
- 中央コンピューター株式会社
- 株式会社中央電機計器製作所
- 株式会社ワイズ・ラブ
- 株式会社eftax
- 株式会社構造計画研究所
- 株式会社フツパー
- 株式会社ネクスタ